



# 学校だより

令和5年2月28日  
横浜市立上白根小学校  
【3月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



## つなぐ・つなげる

校長 山崎 由美

いよいよ令和4年度の最後の月が始まります。今月の17日には、6年生に卒業証書を手渡します。今年の6年生は、小学校生活の半分が新型コロナウイルスによる新しい学校の生活様式で過ごした学年です。様々な制限がある中で、思い切りやりたくてもできないことがたくさんあったはずですが、仕方ないと現状を受け入れなければならないこともたくさんありました。しかし、6年生になりしばらくたつと“3年にも渡るこの生活で自分たちもたくさんの我慢を強いられてきたと同時に地域の人々も元気がなくなっている。みんなが笑顔になり元気を出してほしい”という気持ちが芽生えてきました。そこで実現したのが1月20日、21日に行った「上フェス」です。たくさんの人に来てほしいと地域の回覧板、掲示板、校内放送、校門のところでのチラシ配りなどできる方法を考え、宣伝活動を行いました。

校門でチラシを配りながら声をかけた地域の方は「ありがとう。行けたら行くわね。」と言ってチラシを受け取ってくれたそうです。フェスの2日目、なんとその方が本当に来校してくださったのです。チラシを渡した子どもたちは大喜びでした。その方は「こうやって子どもたちが地域に気持ちを向けてもらえるのはとてもうれしい。私も子どもたちに声をかけてかわかりたいと思っているけれど、今のご時世それも難しいので今回は誘ってもらえて本当にうれしかった。」とおっしゃっていたそうです。人と人がつながり、気持ちもつながり、そこから生み出される優しい空気が見えるようでした。これ以外にも保護者や地域の方から感謝のお手紙もいただきました。

1年生の保護者です。第2人を連れて参加しました。竹とんぼでは優しくお世話をしてもらいました。楽しいイベントを開いてくれた6年生にお礼を言いたくて手紙を出しました。参加できてうれしかったです。 一部抜粋

地域の回覧板で「上フェス」というのをやるのを知りました。思っていた通り素晴らしいフェスタでした。素敵な上小の生徒たちと毎朝顔を合わせ朝の挨拶ができる事に喜びを感じています。感動をありがとう。 一部抜粋

自分たちで何かをやってみようと思った子どもたちがいろいろなものをつないでくれました。そして、6年生のフェスが終わった後に、5年生の担任が「5年生が後に続くからね。」と頼もしい言葉を言っていました。これも一つのつながりです。

今年度は“失敗を恐れず挑戦する”子どもの姿を目指してきました。どの学年も様々な挑戦をした1年でした。子どもたちに逞しさが感じられるようになったのは言うまでもありません。

保護者・地域の皆様には今年度も温かいご理解・ご支援をいただきましたことを感謝申し上げます。次年度も子どもたちがよりよい成長をつなげていけるよう変わらぬご支援をよろしく願いいたします。